

## 志の実現に向けて 32

### はじめに

今日は1月20日(土)の「大寒」です。「大寒」は冬の最後の二十四節気にあたり、一年の中で寒さが最も厳しい頃といえます。能登半島地震から3週間を迎えました。その被害の実相が明らかになるにつれて何とも言えない気持ちになります。被災した人たちの生活の改善に向けての取組が進んでいけばいいのですが…。

さて、1月8日(月)は「成人の日」でした。毎年、この日を迎えると、作家の伊集院 静さんの「新成人」に向けてのメッセージを楽しみにしていました。しかし、伊集院さんは昨年(2023年)の11月に、肝内胆管がんにより亡くなりました。もうメッセージは読めないのかと思っていましたが、「成人の日」の全国紙の朝刊に「誇り」というタイトルで、新成人に向けた伊集院さんの原稿が掲載されていました。これは、生前の10月に書かれたものだといえます。

#### 誇り

新成人おめでとう。  
 今日から君は新しい道を行んでいくことになる。  
 この道には懸命に生きる人の誇りがある。  
 誇りをもって生きること、それは私たちの務めである。  
 誇りとは何か？  
 それは信念をもって歩いていくことだ。  
 今まで同様、誇り高い道をまっとうしてくれ。  
 大勢の人がそれを望んだように、  
 あなたにもまた、自信を持ってその道を行んで欲しい。  
 そこには必ず生きる喜びがある。  
 君の人生の肝心がある。  
 さあ、頑張って私たちの明日に向かおう。

大切なものを抱いて、歩むんだ。

生きていく中で、「誇り」を失いかけることもあります。でも、頑張ってささやかでも持ち続けていきたいものです。

### 「令和6年度大学入学共通テストの各教科・科目の平均点」について

1月17日(水)に、大学入試センターから「令和6年度大学入学共通テスト(1月13日(土)・14日(日))平均点一覧(中間集計)」が発表されました。以下はその一部です。

#### 〔令和6年度大学入学共通テストの各教科・科目の平均点〕

教科名		科目名	受験者数	2024年度平均点	2023年度平均点
国語(200点)		国語	188,915	115.73(57.86)	105.74(52.87)
地理歴史(100点)		世界史B	36,315	63.03	58.43
		日本史B	55,916	58.03	59.75
		地理B	47,950	68.38	60.46
公民(100点)		現代社会	23,173	57.44	59.46
		倫理	5,469	57.09	59.03
		政治・経済	13,555	46.02	50.96
		倫理、政治・経済	20,220	62.02	60.59
数学	数学①(100点)	数学Ⅰ・数学A	133,405	54.35	55.65
	数学②(100点)	数学Ⅱ・数学B	123,808	61.03	61.48
理科	理科①(100点)	物理基礎	8,034	30.91(61.82)	28.19(56.38)
		化学基礎	30,939	28.91(57.82)	29.42(58.84)
		生物基礎	35,645	32.71(65.42)	24.66(49.32)
		地学基礎	14,044	36.71(73.42)	35.03(70.06)
	理科②(100点)	物理	59,497	64.38	63.39
		化学	71,574	56.86	48.56
		生物	22,356	55.72	39.74
外国語	筆記	英語	205,464	53.28	53.82

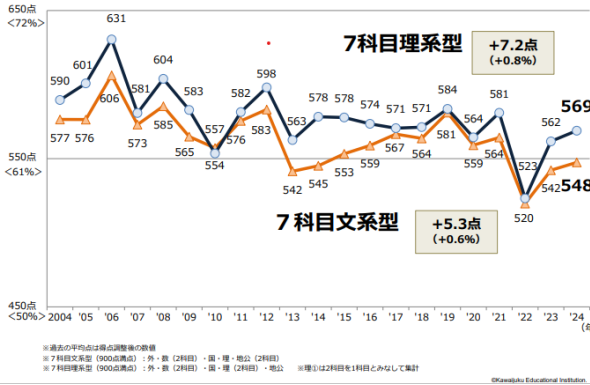
	リスニング	英 語	202, 432	68. 50	62. 35
--	-------	-----	----------	--------	--------

※ ( ) 内の数値は、100 点満点に換算したものです。

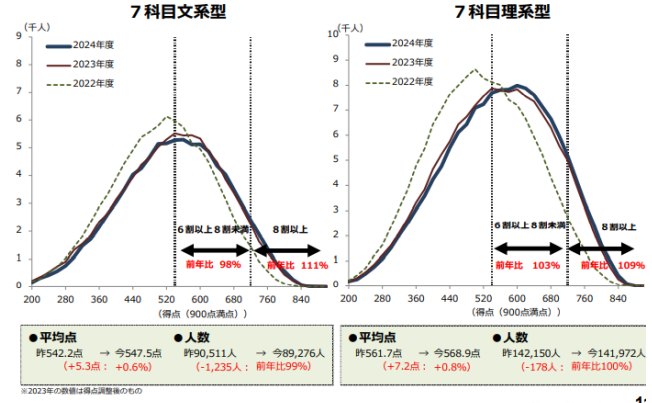
## 「2024 年度大学入学共通テスト 共通テストリサーチ (河合塾)」について

「大学入学共通テスト」の翌日には、自己採点が行われました。この結果にもとづき、予備校等で出願傾向に関する分析が行われています。以下は、河合塾から提供された「共通テストリサーチ」の中でまとめられた資料の一部です。今年度の7科目型平均点は、昨年度よりも若干上昇し、現段階では、難関大学よりも準難関・地域拠点校大学に人気が集まっているようです。

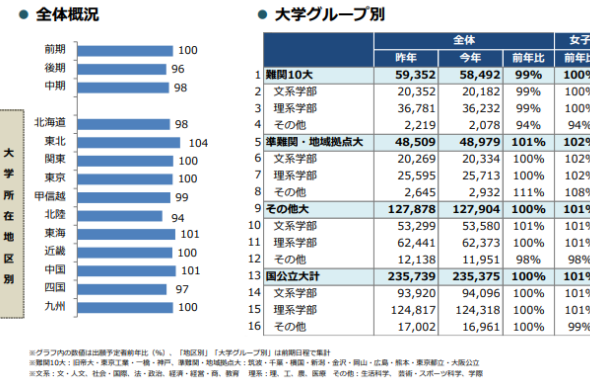
【共通テストリサーチ】7科目型平均点の推移



【共通テストリサーチ】7科目受験者の得点分布



### 国公立大の志望動向 (全体概況)



### 国立難関10大学の状況 (前期日程)

	北大 94	京北大 109	東大 99	東工大 95	一橋大 100	名大 97	京大 101	阪大 95	神大 101	九大 95
文 98	86	112	100			93	95	95	107	99
理 95	128	103				99	95			73
外語 101									101	
法 95	91	94	95			96	107	91	97	90
経済 103	99	119	101			100	102	100	101	106
経営 103										105
工 100		116	96			97	93	100	102	101
農 95		103	107	95		99	105	93	104	93
医 101		126	77			113	97		107	100
歯 94										
薬 94										
工 100	92	107	127			86	99	104	95	91
農 110	90	150							89	125
医 91		111						103	97	87
保健 98	97	104				102	81	97	95	104
学 94	総合文系 86					社会 108	情報 87	総合人間 108	人間科学 95	国際人間 91
	総合理系 86					フーズ 65				共前 91

### 主なトピック

- ▶ 入学定員増
  - ・北海道大 (工→情報エレクトロニクス) : +50名
  - ・東北大 (工) : +40名
  - ・東京工業大 (情報理工) : +40名
- ▶ 北海道大
  - ・総合入試課系 (前) : 募集人員増 (+50名)
- ▶ 東北大
  - ・第1段階選抜の倍率変更 (医-前) : 3倍→3.5倍
- ▶ 東京工業大
  - ・推薦総合系の拡大 (前期で募集人員減) 前期募集人員の増減: 生命理工 (+30名)
  - ・物質理工 (+22名)、環境・社会理工 (-12名)、情報理工 (+26名)
- ▶ 京都大
  - ・理: 第1段階選抜の倍率変更 (53/900点→3倍)
  - ・工: 学科名称変更 (工業化学科→理工化学科)
- ▶ 神戸大
  - ・工 (応用化学) : 一般選抜の共通テスト理科は物・化必須に。前期は配点比率も変更 (より2次重視)
  - ・医 (保健-看護学-前) : 2次面接増

## 「国公立大学後期日程受験状況」について

後期日程は募集人数が少なく、しかも前期日程と同時出願のため、出願の時点では倍率は高くなります。ただし、前期日程試験で合格し、入学手続きをとった受験生は後期日程試験を受験することはできません。また、私立大学等に進学先を決定し、後期日程試験を受験しない受験生も多くいます。その結果、全体の欠席率は60%を超え、大学によっては、80%を超える大学もあります。後期日程試験は、「宝の山」とも言われます。後期日程試験は3月12日 (火) の遅い時期に行われますが、最後まで粘った結果、思いもよらなかった合格を手にしてきた受験生をたくさん見てきています。以下は、2023年3月12日段階の、「2023年度 (令和5年度) 国公立大学入学者選抜、後期日程個別学力試験第1時限目 (受験生個々についての第1時限目) の受験状況」をまとめたものです。

【後期日程の受験状況】

区分	試験実施大学・学部数		欠席率 (%)
国立	(68 大学)	(267 学部)	(62. 2)
	70 大学	275 学部	62. 6
公立	(61 大学)	(122 学部)	(62. 2)
	59 大学	123 学部	63. 8
計	(129 大学)	(389 学部)	(62. 2)
	129 大学	389 学部	62. 9

※ 「第1日目第1限目」とは、各大学の入試スケジュールの中の第1時限ではなく、受験生個々についての第1時限目です。